

International Development Center of Japan
IDCJ 国際開発センター

マレーシアへの留学のススメ

～2月27日(金)、28日(土)にマレーシア留学フェアを開催します!～

国際開発センターでは2012年よりマレーシアの大学への留学サポートを行っています。

従来、留学と言えばアメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアなどが一般的でしたが、学費の上昇や生活費の高騰で、これらの国への留学は以前より難しくなっています。一方、アジア諸国による留学生の受け入れが目立つようになってきました。

マレーシアはそうした国の一つで、国を挙げて留学生の受け入れに取り組んでいます。2010年の留学生受け入れ者数は5万7,824人で世界第14位(UNESCO発行のGlobal Education Digestによる)。この数はシンガポールへの留学者数を1万人ほど上回り、アジア諸国では日本、中国、韓国に次ぐ第4位となっています。



昨年開催されたマレーシア留学フェアの様子



提携大学の一つTaylor's University

国際開発センターでは、将来、世界を舞台に活躍することを目指す日本の若い人々に、マレーシアへの大学留学を選択肢の一つとして提案しています。

マレーシアの大学の魅力はたくさんあります。マレーシアはマレー系、中国系、インド系などの住民が共存する多民族国家です。この世界の縮図のような環境で数年間生活することで、グローバルビジネスや海外での活動に不可欠な国際人としての素養を身に付けることができるでしょう。

マレーシアの私立大学では授業は英語で行われており、英語をしっかりと身に付けることができます。授業の中身は濃く、多くの課題が与えられ、学生には積極的な発言が求められるため、学期中はアルバイトをする余裕もないほどです。

3年間で卒業できることに加えて学費は一般に日本の私立大学よりも安く、例えば、ビジネス関連の学部で年間80万円程度に収まるのも魅力です。マレーシアは親日国で治安が良く、インターネット環境も充実しているため、安心して学生生活を送ることができるでしょう。

また、2年生あるいは3年生から米英豪などの大学に転入するプログラムを有する大学もあります。その場合、転入先の大学とマレーシアの大学の両校の学位を得ることができます。

国際開発センターはマレーシアの八つの大学と提携を結び、これまでに50人以上の留学生を送り出してきました。個人の留学希望者のみならず、日本の大学からの学生派遣のお手伝いもしています。

2月27日・28日には、マレーシア政府観光局と共同で、青山でマレーシア留学フェアを開催します。同フェアの開催は4回目となりますが、マレーシアの大学のスタッフが来日し、マレーシアの大学の魅力や留学について詳細に説明いたします。

魅力たっぷりのマレーシア留学について、一人でも多くの人に知ってほしいと考えています。ぜひ、マレーシア留学フェアにお越しください!

マレーシア留学HP : <http://www.idcj.or.jp/studymalaysia/index.html>
Facebook : <https://www.facebook.com/MalaysiaRyugaku>